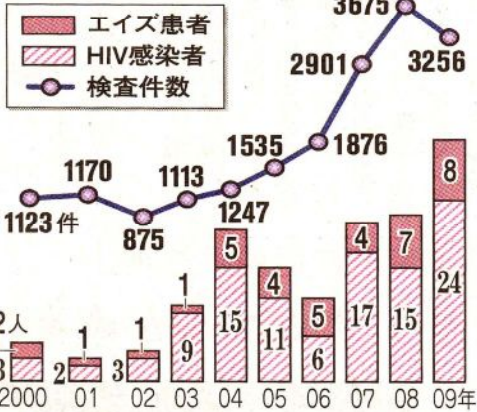


県内のHIV感染者、 エイズ患者数とHIV検査件数



HIV感染者は24人で前年から9人増えた。エイズ患者は8人で1人増。年代別の感染者と患者の割合は、30代37・5%、40代25・0%、20代18・8%と続いた。すべて性行為による感染だった。検査数は3256件。前年を419件(11・4%)下回った。県は、新型インフルエンザの影響で、検査に訪れる

09年県内調査

2009年に新たに報告された県内のエイズウイルス(HIV)感染者とエイズ患者の数は、計32人と過去最多に上ったことが県の調べで分かった。一方、保健所などでHIV検査を受けた人の数は7年ぶりに前年を下回った。県や広島市は、HIV検査普及週間(6月1〜7日)に合わせ、臨時検査や講演会を開く。

(衣川圭)

エイズ感染患者最多32人

検査人数は7年ぶり減

機会が減ったのが原因とみる。

とうかささん中日の5日には、広島市中心部で感染防止に向けたイベントが相次ぐ。県臨床検査技師会などは午後2〜8時、中区の並木通り周辺でパンフレットやコンドームを配布。中区新天地のユノ川クリニックに、予約なしで無料検査できる臨時会場を設ける。

県は午後2時から、中区堀川町の広島丸善ビルで、エイズ予防法を伝える若者向けの無料講演会も開催。会場内に県立広島大(三原市)の学生が、同世代とエイズについて語り合う場「エイズカフェ」(無料)も開く。

1〜9日は、県の保健所や広島市各区の福祉センターが無料検査の時間を延ばす。県健康対策課の山下十喜専門員は「薬の発達で、感染しても発症を抑えられる。早めに検査をしてほしい」と呼び掛けている。県健康対策課 ☎082(513)3175。市保健医療課 ☎082(504)2622。



廃虚となった爆心地周辺の模型について前田館長(前列右)の説明を聞くトシシ議長(同中)

広島市民版

報道部 ☎082(236)2323 FAX(236)2321
 電子メール houdou@chusoku-np.co.jp
 安佐北支局 ☎082(812)0018 FAX(819)0088
 ニュースや話題など身近な情報をお寄せください